

ジョブカフェだより 2018 9月号

転職・中途採用の面接で良く出る質問例とその意図

就職活動で避けて通ることが出来ないのが面接。今回は、面接で必ずといっていいほど聞かれる質問の意図は何か解説します。面接の意図をしっかり把握し、ポイントを押さえた回答で面接を突破しましょう～。

Q どうして当社に応募したのですか？

■応募者がどこまで会社に興味を持っているか、この会社に何を求めて応募してきたかを探ろうとしています。更に入社意欲がチェックされます。「他社でもいいのでは？」と思わせないよう本気の気持ちを伝えましょう。

Q この仕事を選んだのはなぜですか？

■特に未経験で応募してきた人に対して、仕事に対する意欲や熱意を図ろうとする質問です。また、希望する仕事の中身をどれだけ理解しているかチェックされます。自分が持っている知識や経験がどう生きるか説明しましょう。

Q 前の会社ではどのような仕事をしていましたか？

■前の仕事内容から、経験値や実力レベル、希望する仕事への適合性をみようとする質問です。具体的に簡潔に分かりやすく説明するのがポイント。他業種の専門用語や略語は避け長くても1分弱程度で話しましょう。重要なのは志望先で役立つスキルや適性をどこで、どのくらい身に付けたか伝えることです。

Q あなたの長所と短所をあげてください。

■自分をどれだけ客観視出来ているかをチェックすると同時に、その長所・短所を仕事でどう生かし、どう補っていくかを聞き出そうとしています。抽象論ではなく、自分らしい表現も工夫していく必要があります。

Q 残業があってもかまいませんか？

■残業が少ないケースでも、仕事に対する姿勢や柔軟性を確認するために質問することもあります。まずはイエスと答えましょう。

Q 最後(逆に)に何か質問ありませんか？

■この質問はいわば面接終了を告げる儀式のようなもの。何が何でも質問しなければ・・・と思うのは間違いです。とはいえ「何もありません」はソーン。入社希望を再アピールしよう。

【採用担当者からのアドバイス】 面接中視線はどうする？

面接中の視線、キョロキョロしていたり、ずっと下を向いていたりするのはNG！



「話をする時の視線」は質問者の目を見れば良いと思います。複数人いる時はまんべんなく全員の目を見て話しましょう。「話をする時はまっすぐ堂々と話すことがとても重要です！

一方「話を聞くときの視線」は基本的には「面接官の目を見る」の他に、「目以外の顔周辺に視線をそらす」「目とそれ以外を交互に見る」

などがあります。見つめすぎるのも気まづくなりますからね。時折は視線を合わせながら目元・口元・ネクタイの結び目程度までは視線外しの許容範囲でしょう。



ジョブカフェでは、履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方などのアドバイスをしております。お気軽にご相談を！



ジョブカフェ久慈
仕事探し、企業活動の総合サポート

〒028-0051 久慈市川崎町13-1
(久慈市勤労青少年ホーム内)

電話 0194-53-3344
開所時間 月～金 10時～17時
(第1・第3金曜日及び祝日、年末年始を除く)

